

第13号

2006年(平成18年)3月25日

編集・発行

湖山地区同和教育推進協議会  
〒680-0941 鳥取市湖山町北6丁目334  
TEL・FAX (0857) 28-1017

日本国憲法(抄)

第十四条すべての国民は、法の下に平等であつて、人種、信條、性別、社会的身分又は、門地により、政治的又は、社会的關係において差別されない

こやま地区同推協だより

小地域座談会

ビデオ

「寝た子を起こすな」に学ぶ



10/21 茶屋四区・青葉台合同小地域座談会にて

自分の意見を率直に言えて 解り合える地域に

地域独自の協力員を

今年の湖山地区同推協は、「寝た子を起こすな」をテーマに小地域座談会を開催しました。その中で、鳥取市人権同和教育課の川口指導員が述べた五つの要望と加藤指導員が述べた三つのお話を紹介します。

鳥取市人権・同和教育課指導員 川口幸一氏より  
1. 一八七一年に解放令が明治政府によって施行されました。それ以前は差別は当たり前でした。

また、個人情報についても本人や家族でないのに、他人が個人情報を入手したという事例が鳥取県で十六件も起きています。八業種といわれる法律に

また、個人情報についても本人や家族でないのに、他人が個人情報を入手したという事例が鳥取県で十六件も起きています。八業種といわれる法律に

また、個人情報についても本人や家族でないのに、他人が個人情報を入手したという事例が鳥取県で十六件も起きています。八業種といわれる法律に

近年まれに見る寒くて長い冬が去り、ようやく春の気配が感じられるこの頃です。早いもので年度末を迎える時期となつてしまいました。また、関係者の皆様をはじめ、地域の方々にはこの一年間本協議会の活動に付きましては、深いご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

今年度の活動を振り返って

湖山地区同和教育推進協議会会長 飯田 寛司

取り組みとしては、三ヶ年計画による小地域座談会を実施したこと。会場等の関係で未実施の地区もありましたが、区

富桑隣保館での現地研修会を実施したこと、湖東ブロックの当番推進協としての同和教育研究会や推進員研修会の開催、教育関係の連絡協議会など、多くの事業を実施し

飯田 寛司 湖山地区同和教育推進協議会会長

私の戸籍がどこかで入手され「人権が侵害されている」何が正しく、何が間違っているのか、知る権利がある。それが、小地域座談会で反映されることを希望する。

地域に望むこと  
1. 夜でも出られる日程  
2. ご高齢の方だけではなく、若い人たちが引つ張り合つて出られる年間の計画を。

エタ非人は排除されてしまった。当時は法律として発令したものの、政策はなく、「そつととしていた」。そしてつとつとそれが続いていた。五十年経ちました。それでも差別はなくなりませんでした。一九二二年水平社が作られました。「頼れるのは自分たちだ」と立ち上がったのです。そして、一九六九年、法律が定められ、一九七二年から中学校で同和教育が始まりました。さらに、地区の同推協ができ、差別は減ってきました。正しく起こして事実から検証していかなくてはいい

また、個人情報についても本人や家族でないのに、他人が個人情報を入手したという事例が鳥取県で十六件も起きています。八業種といわれる法律に

また、個人情報についても本人や家族でないのに、他人が個人情報を入手したという事例が鳥取県で十六件も起きています。八業種といわれる法律に



11/17 公民館人権啓発推進事業 現地研修会/富桑隣保館



9/14 公民館人権啓発推進事業 「女性の人権について」 男女共同参画センター 指導員 林田 迪子 講師



6/22 公民館人権啓発推進事業 「こどもの人権について」 鳥取こども学園希望館 館長 藤野 興一 講師



5月8日 茶屋一区小地域座談会  
5月11日 湖山地区同和教育推進協議会総会  
6月22日 公民館人権啓発推進事業「こどもの人権について」 鳥取こども学園希望館 館長 藤野興一氏



9月14日 第二回公民館人権啓発推進事業「女性の人権について」 男女共同参画センター 指導員 林田迪子氏  
9月17日 湖東ブロック研究会(湖山地区公民館)  
9月21日 第二回推進員研修会  
10月18日 連合会三夜会、理事會  
10月21日 茶屋四区、青葉台小地域座談会(茶屋四区公民館)  
11月5日 鳥川区小地域座談會(鳥川公民館)  
11月5~7日 鳥取県人権・同和教育研究会  
11月11日 湖東ブロック計画訪問(湖山地区公民館)  
11月17日 第三回公民館人権啓発推進事業(同和教育現地研修会/富桑隣保館)  
11月18日 南団地シニアクラブ  
11月21日 第四回推進員研修会  
12月2日 湖山地区常任評議委員會  
12月8日 鳥取市同和教育推進協議会社会教育部會  
12月18日 南二丁目小地域座談會(湖山地区公民館)  
1月20日 第五回湖東ブロック地区同和教育推進員研修會(湖山地区公民館)  
1月25日 湖山地区保・幼・小・中連絡協議會



平成十七年度湖山地区同推協事業実施状況

# 幼保・小中一貫と地域の連携を深めて

## 湖山小 平成18年度～平成19年度 鳥取市同和教育の指定研究校へ

恒例の湖山地区同和教育連絡協議会が一月二十五日、湖山地区公民館で開催されました。この事業は、湖山地区にある幼稚園、小学校、中学校、地区同推の五団体が一年に一度集まり、年間の活動報告や諸課題について意見交換、情報交換を行うものであり、今年で二回目を数えます。



この度の連絡協議会では各団体から活発な意見と諸課題が出ましたので、その要旨をまとめて報告致します。(湖山保育園Ⅱ坂口園長、勝田同推部長／ひかり幼稚園Ⅱ岩佐主任、山下同推部長／湖山小学校Ⅱ池口教頭、岸本教諭、大城同推部長／湖東中学校Ⅱ人権同和主任畑本教諭／地区同推協Ⅱ飯田会長、田村副会長、奥村上副会長、奥田事務局、同推進員Ⅱ影井、三橋、塩坂、谷尾)

湖山地区同和教育推進協議会 推進員 三橋 和枝  
小地域座談会に参加する人が少ないです。会社、保護者など、いろんな立場から参加していただければいいのですが、参加する人が固定化されています。グループに分かれて、いろんな年齢層で話し合いができればいいと思います。地域によって温度差があるのでは、もっと開けた会になればと思います。同じ湖山地区でも温度差があることが課題である。推進していこうという気持ちはあるけど、まずは自ら研修して勉強していきたいと思っています。PTA、保護者の方々にもしっかりと参加して頂きたいと思っています。

湖山保育園  
参観日の後に保護者に残ってもらい、グループに分かれて園の目指す園児についての話し合いや研修会を開催しています。鳥取市の保育園の二、三歳児を対象にした実態調査や保護者の意識調査を実施し、アンケートの結果を保護者の方々に見ていただきました。また、昨年の十一月五～七日には全国同和保育大会が鳥取市で開催され、湖山保育園の職員も参加致しました。その時の資料を元に意見交換会を一月に催しましたが、保護者の参加は半分くらいでした。

湖東中学校  
湖東中学校も小学校同様、年間計画を立てて、人権教育の推進と保護者への啓発を行っています。現在、同和教育から人権教育へ見直しされている最中ですが、全くやっていることは変わっていません。来年度に向けて「部落差別・障害者差別」を重点目標にしていきたいと考えていますが、カリキュラムの関係で計画通りに出来ないのが実態です。しかし、二年生では奈良の橿原に人権侵害について研修旅行へ行きますし、三年生は四月に平和学習ということで沖縄に行きます。

湖山地区同和教育推進協議会 副会長 田村 伸司  
「小地域座談会」を充実するために、自治会にどういった働きかけをしていったらいいのかを模索した一年でした。三年前

の十一月にも茶屋四区で小地域座談会を開催しました。その時は、人がなかなか集まらなかったのですが、今回の小地域座談会は青葉台地区との合同ということでも、かなり多くの人が集まりました。三年前は何の意見も出ませんでした。今回はビデオを見た後、グループ分けをして話し合いました。意見が出るかなあと心配していましたが、指

導員の方がうまくリードして活発な意見が出たと思います。そういう意味では非常によかったと思います。今後は、参加されなかった方々にも呼びかけて少しでも多くの人に座談会に出席していただきたいと思っています。

湖山小学校  
湖山小学校においては同和教育だけではなく、さらに人権という広い視野で裾野を広げていけたらと年間の推進計画を立てています。基本的には各学年に年間事業計画を設け、「生命」「仲間」「人権」「障害者・外国人差別」「部落・病気にかけられている人々たちへの差別」をテーマに各学年が取り組んでいます。一年

間を通じて、湖山・湖山西・末恒・賀露の四校と中学校の連携を図りながら、三十六九年間で吸い上げていこうという取り組みです。その上、横の連携も図りたいと思っています。また、本校は、十八年度十九年度の二年度、鳥取市同和教育の指定研究校になっています。二年後の発表という事で、児童・保護者の人権に関して保護者と地域の連携を図って見直し、掘り出し、洗い出していかなければいけないと思っています。

この二つの研修旅行が大きな柱になっています。校内では、十月に公開学習を行い、中山さんを招き、講演会をしました。参加率としては二百名くらいで全体の約三分の一です。来られる人はいつも来て頂けませんが、全く来てもらえない保護者も少なくありません。



### 同和教育研修に参加して 谷尾 玲子

湖山地区の同和教育研修会に参加させていただき、はじめて鳥取市立富桑隣保館を訪ね、西川館長のお話を聞きました。富桑地区の同和教育の歴史を聞き、現在の富桑地区の現状を見て歩き、身近に同和教育の一辺を感じる事が出来ました。

現在の富桑地区は、大きな道路や新しい家も建ち並び、きれいに整備されています。当地区の皆さんは、今日に至るまで大変な苦勞をされたと聞きました。以前の地区は、道幅狭く、火災のときは消防車も入らない。しかも10cmの側溝しかなく、雨が降るたびに町が水浸しになる生活の繰り返しだったそうです。

部落と言うことで、社会からも長い間、差別され、インフラ整備はいつも後回しにされていた事実を知り、憤りを感じました。

私たちは、部落問題の歴史を知ることによって人から聞いた間違ったことを正し、各自が自分の考えを振り返ることが大切ではないでしょうか。同和教育は、何回も繰り返し研修することにより、各自が正しい認識を持ち、「差別をしない、させない社会」にしなければいけないと思います。

今後は機会があれば、研修に参加し、部落問題の正しい知識を身に付けて行きたいと思っています。

また、本校は、十八年度十九年度の二年度、鳥取市同和教育の指定研究校になっています。二年後の発表という事で、児童・保護者の人権に関して保護者と地域の連携を図って見直し、掘り出し、洗い出していかなければいけないと思っています。

この二つの研修旅行が大きな柱になっています。校内では、十月に公開学習を行い、中山さんを招き、講演会をしました。参加率としては二百名くらいで全体の約三分の一です。来られる人はいつも来て頂けませんが、全く来てもらえない保護者も少なくありません。

### 三國連太郎・沖浦和光対談(上)

～浮世の虚と実～ 定価 1,800円

### 三國連太郎・沖浦和光対談(下)

～芸能史の深層～ 定価 1,600円



三國連太郎がはじめて語る記念碑的自叙伝。また被差別の地平から壮大な構想で日本文化の深層を読み解いた(沖浦日本学)事始めの書。(上)三國が沖浦に自分を語り、(下)沖浦が、日本芸能史に込めた願いを語る。

著者 三國連太郎・沖浦 和光  
出版 解放出版社

### 僕もピアノが弾けたよ

～知的障害をもつ仲間と奏でる音色～



定価 1,680円

元サラリーマンの著者が、自閉症の息子にピアノを教えたことをキッカケに知的障害者の子どもたちを対象にピアノ教室を開く。息子や生徒に寄り添った30年の行動は、ハンディのある人との交流について考えさせられる一冊。

著者 成田 文忠  
出版 とびら社

## 人権・同和教育に関する本の紹介

### 「ステレオタイプ」と「偏見」

私たちはごく自然にものを見て生活しています。その中でつい思い込みによって、偏った見方をしてしまうことがないでしょうか。「ステレオタイプ」や「偏見」といわれるものがそれです。

ステレオタイプは特定の集団を通してそれを構成する個を同じように見えてしまう。あるいは個を通して集団全体を同じに見えてしまうなどの固定的な観念をいいます。偏見は偏った正しくない見方・考え方をいい、これには感情が伴います。共通点の一つの側面です。また、いずれもが親あるいは親に代わる影響力の強い周囲の人から刷り込まれることが大きな原因です。これは心理学上でもいわれていることです。

ステレオタイプや偏見は憎しみ、嫌悪、疎外、閉鎖、攻撃、不平、不満、同情、支配、打算などを生み、差別につながるようになります。また、誤解、予断も同様です。

《ステレオタイプと偏見の具体例(国連広報センター)》

- ①先生はみんな親切だから好きだ。(偏見)
- ②私には親切な先生がいてうれしい。(客観的)
- ③先生というのは親切なものだ。(ステレオタイプ)

### ひろげよう人権

ホームページより

